



2024年6月4日

各 位

会 社 名 ラサ工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 坂尾 耕作  
コ ー ド 番 号 4022(東証プライム)  
問 合 せ 先 責 任 者 代表取締役 常務執行役員 望月 哲夫  
(TEL 03-3258-1835)

## 長期ビジョンおよび中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、長期ビジョン「Rasa Vision 2033」および直近3か年の「中期経営計画 2026」を策定しましたので、以下の通り概要をお知らせします。また、これらの計画を本日開催の機関投資家向け決算説明会にて説明予定です。

### 記

#### 1. 長期ビジョン「Rasa Vision 2033」および直近3か年の「中期経営計画 2026」

当社は、2033年の創業120周年に向けた長期ビジョン「Rasa Vision 2033」を策定し、「企業価値の向上と持続的成長の追求」と、「サステナブルな未来の実現」を軸に、企業価値の向上と成長戦略に取り組んでまいります。

この長期ビジョンを実現するためのバックキャストिंगの考え方から、今後の9年間を種まき・育成・収穫の3つのフェーズに分け、新しい「中期経営計画 2026」(2024年度～2026年度)は、第1フェーズ、種まきの3年間と位置づけ、「経営資源の最適化と収益力強化を推進し、企業価値向上への基盤強化を図る」を基本方針として、長期ビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。

#### 2. 数値目標

##### ■長期ビジョンの数値目標(2033年度)

・連結売上高	800億円
・連結営業利益	80億円
・ROE	10%以上
・ROIC	10%以上
・GHG排出量	30%削減 (2021年比)

##### ■中期経営計画 2026 の数値目標(2026年度)

・連結売上高	520億円
・連結営業利益	48億円
・ROE	10%以上
・ROIC	9%以上
・配当性向	30%以上

長期ビジョン「Rasa Vision 2033」と「中期経営計画 2026」の詳細につきましては、添付資料「2024年3月期決算説明会資料」をご確認ください。

以 上



## 2024年3月期 決算説明会資料

2024年6月4日

証券コード：4022

# 目 次

---

- 1. 事業概要**
- 2. 2024年3月期実績及び2025年3月期見通し**
- 3. 新中期経営計画**

# 1. 事業概要

# 事業概要

## 会社概要

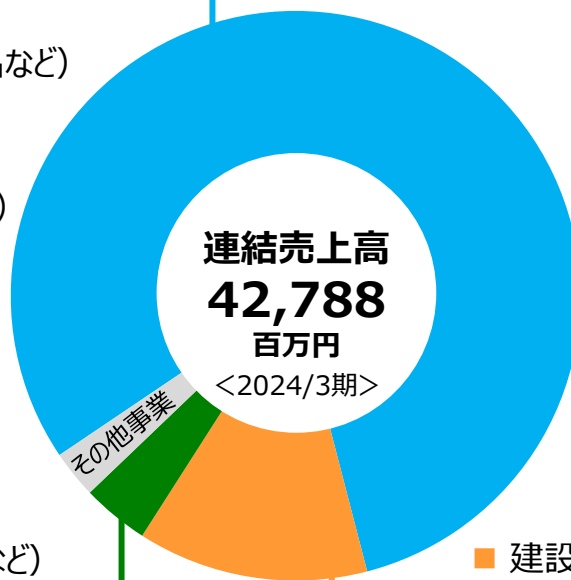
商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	620名（連結） <2024年3月31日現在>

## 化成品事業 34,391百万円／80.4%

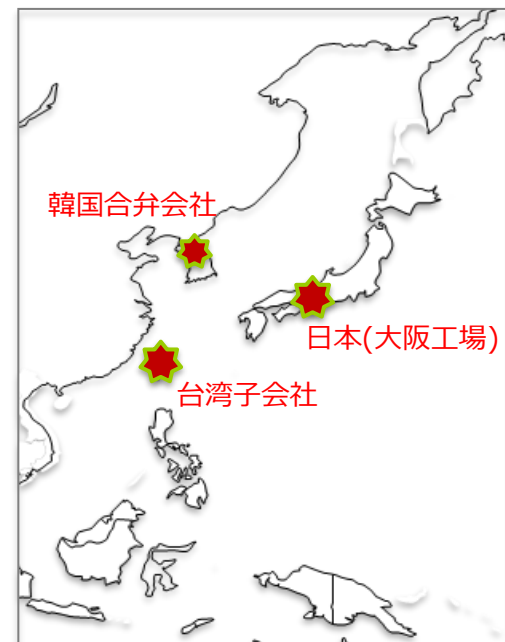
- リン系製品
  - リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
  - リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

- 化合物半導体向け高純度無機素材（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

## 電子材料事業 1,635百万円／3.8%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
  - 土木機械（掘進機（上下水道向け））
- ## 機械事業 5,584百万円／13.1%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

## **2. 2024年3月期実績及び2025年3月期見通し**

# 2024年3月期 決算概要

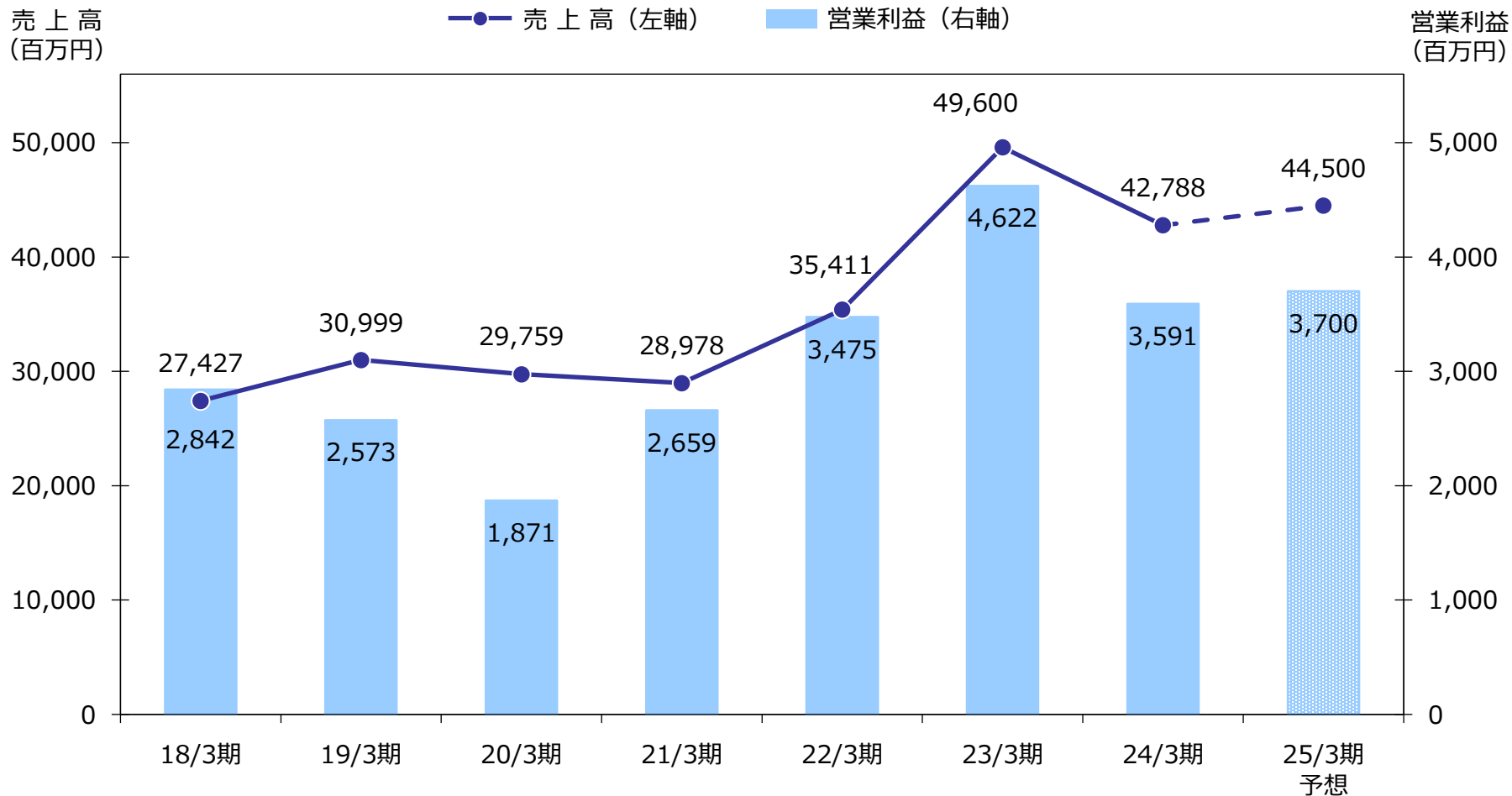
- 売上高は、化成品事業、電子材料事業において半導体市況の悪化により減収。機械事業は増収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、22.3%の減益。

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減	前年同期比	業績予想	増減
売上高	49,600	42,788	△ 6,811	△ 13.7%	43,000	△ 211
営業利益	4,622	3,591	△ 1,031	△ 22.3%	3,250	341
経常利益	4,690	3,396	△ 1,293	△ 27.6%	3,050	346
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,382	△ 849	△ 26.3%	2,100	282
1株配当金	82.00円	91.00円	9.00円	11.0%	82.00円	9.00円
(減価償却費)	1,845	1,868	22	1.2%		

# 年度業績の推移

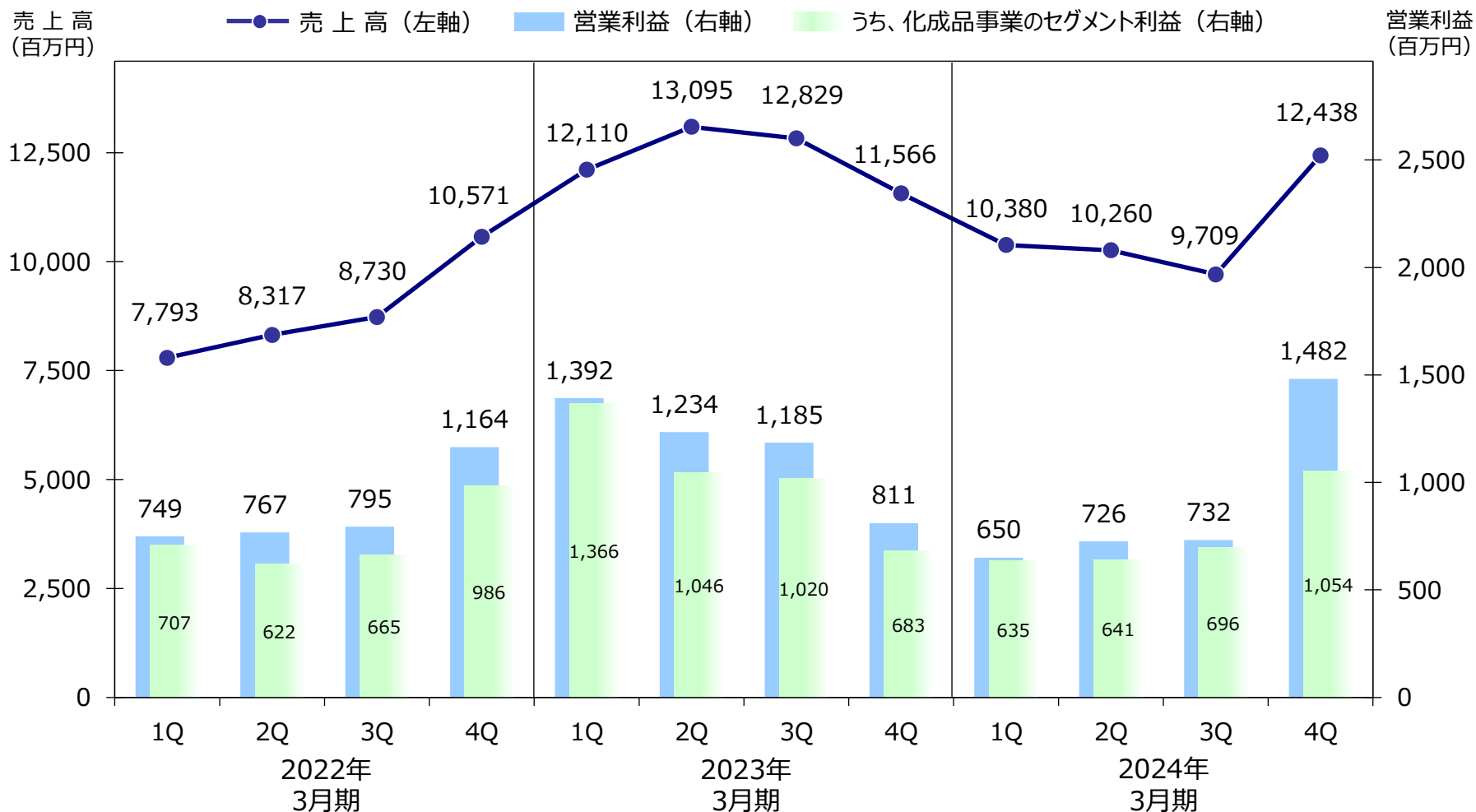
## 売上高と営業利益の推移





# 四半期業績の推移

## 四半期売上高と営業利益の推移

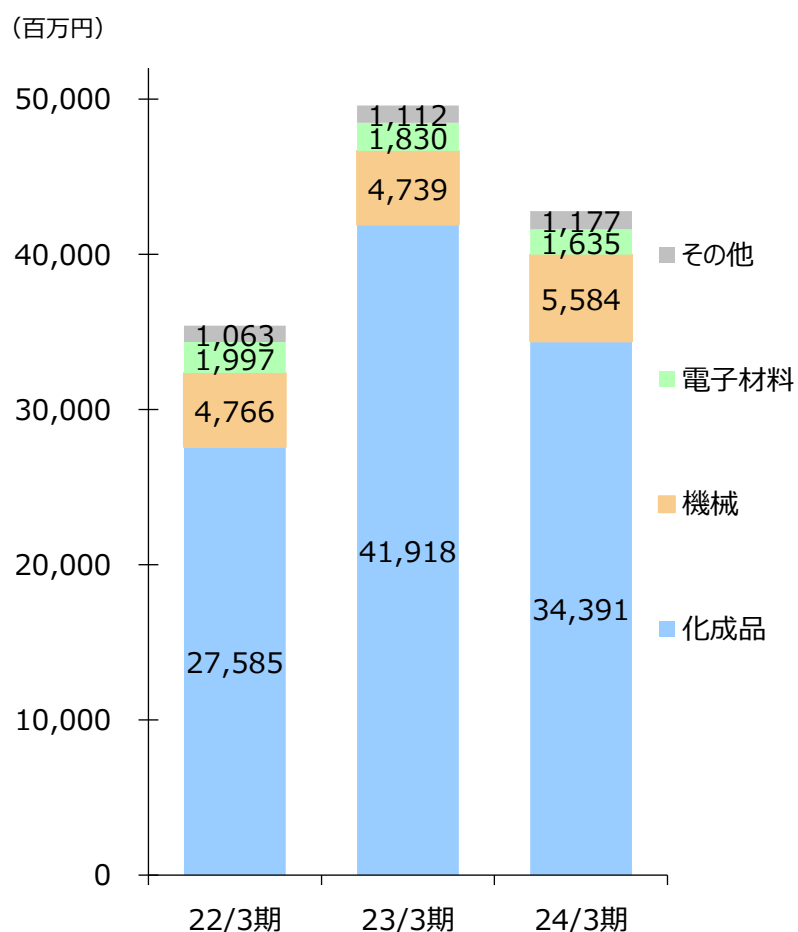


# 2024年3月期 セグメント別概要（売上高）

## 売上高の推移

(単位：百万円) (百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減	前年 同期比
化成品	41,918	34,391	△ 7,527	△ 18.0%
機械	4,739	5,584	845	17.8%
電子材料	1,830	1,635	△ 194	△ 10.7%
その他	1,112	1,177	65	5.9%
合計	49,600	42,788	△ 6,811	△ 13.7%

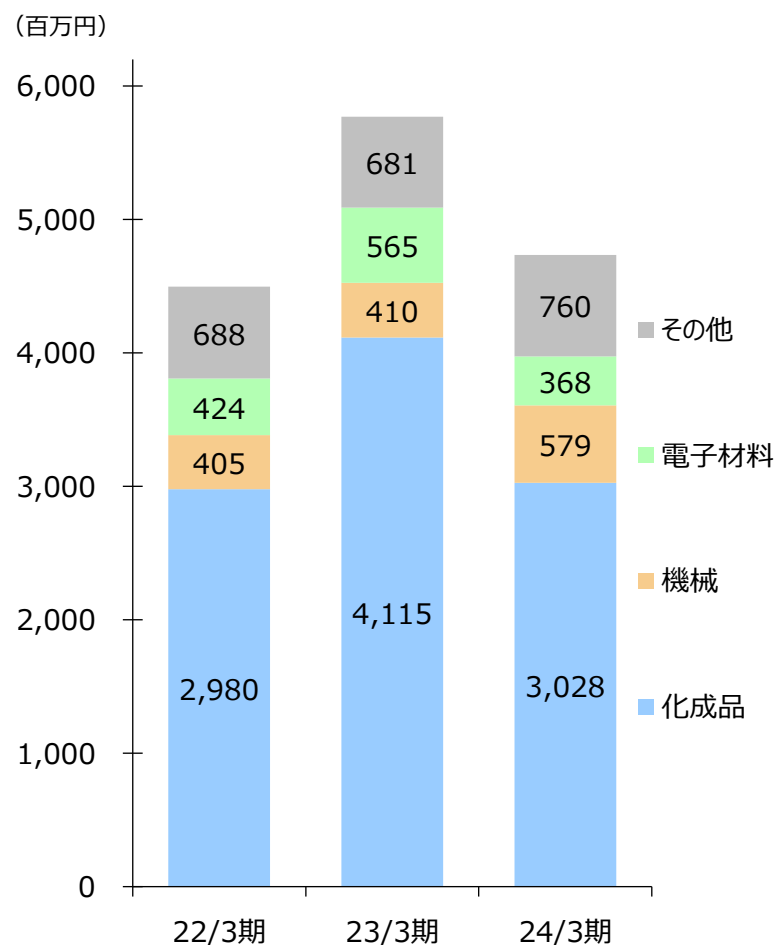


# 2024年3月期 セグメント別概要（利益）

## セグメント利益の推移

(単位：百万円) (百万円)

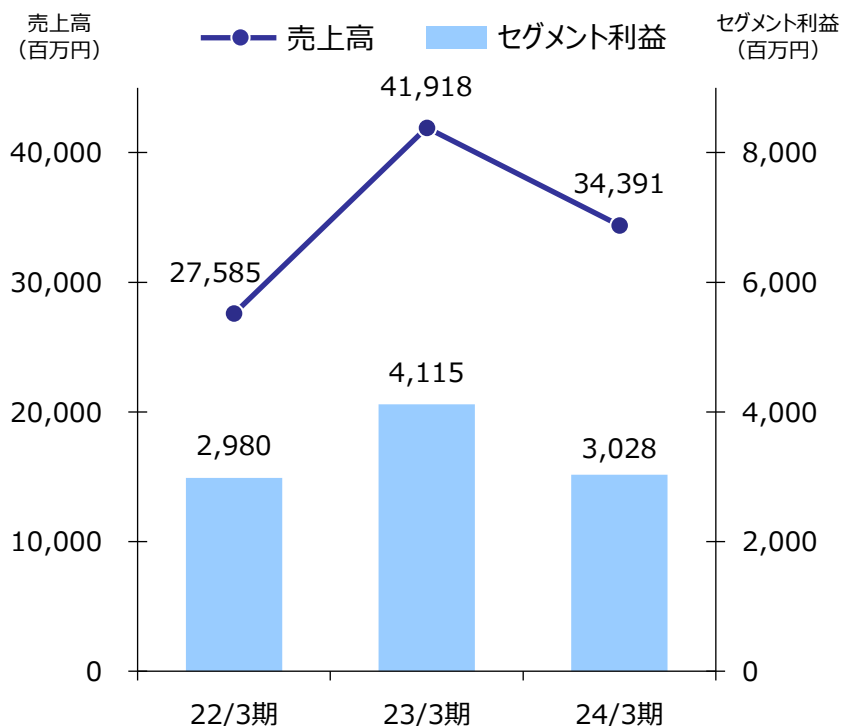
	2023/3期	2024/3期	増減	前年 同期比
化成品	4,115	3,028	△ 1,086	△ 26.4%
機械	410	579	168	41.0%
電子材料	565	368	△ 196	△ 34.9%
その他	681	760	79	11.6%
(調整額)	△ 1,149	△ 1,144	4	-
合計	4,622	3,591	△ 1,031	△ 22.3%



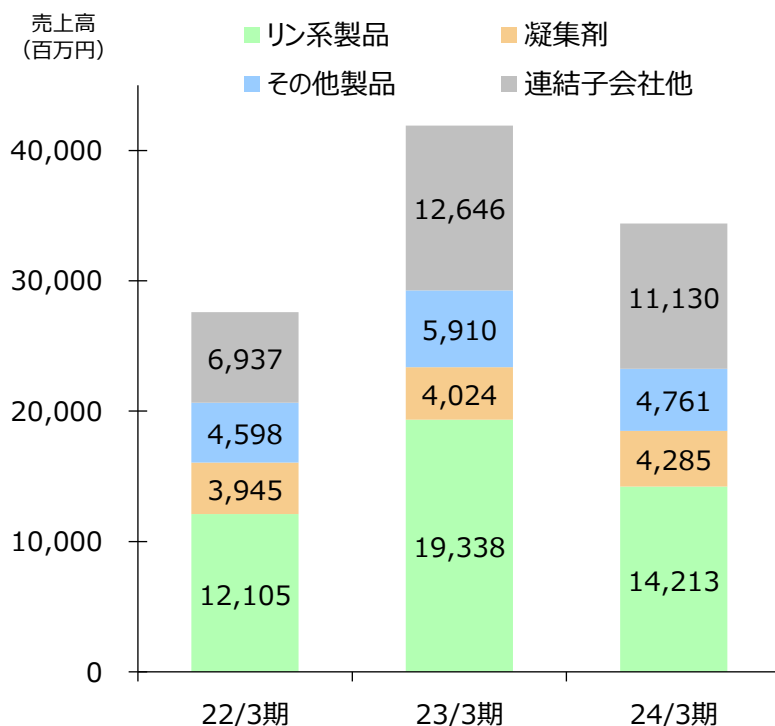
# 化成品事業

- リン系製品は、半導体向け高純度品が、市況の悪化を受け国内外共に大幅減収（連結子会社分を含む）。
- 凝集剤は、上水道向け製品が増収、電子部品のエッチング用途向けが減収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、調整局面の継続による販売数量の減少により減収。
- 営業利益は、半導体・電子部品関連市況悪化による販売数量減を主因として、26.4%の減益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

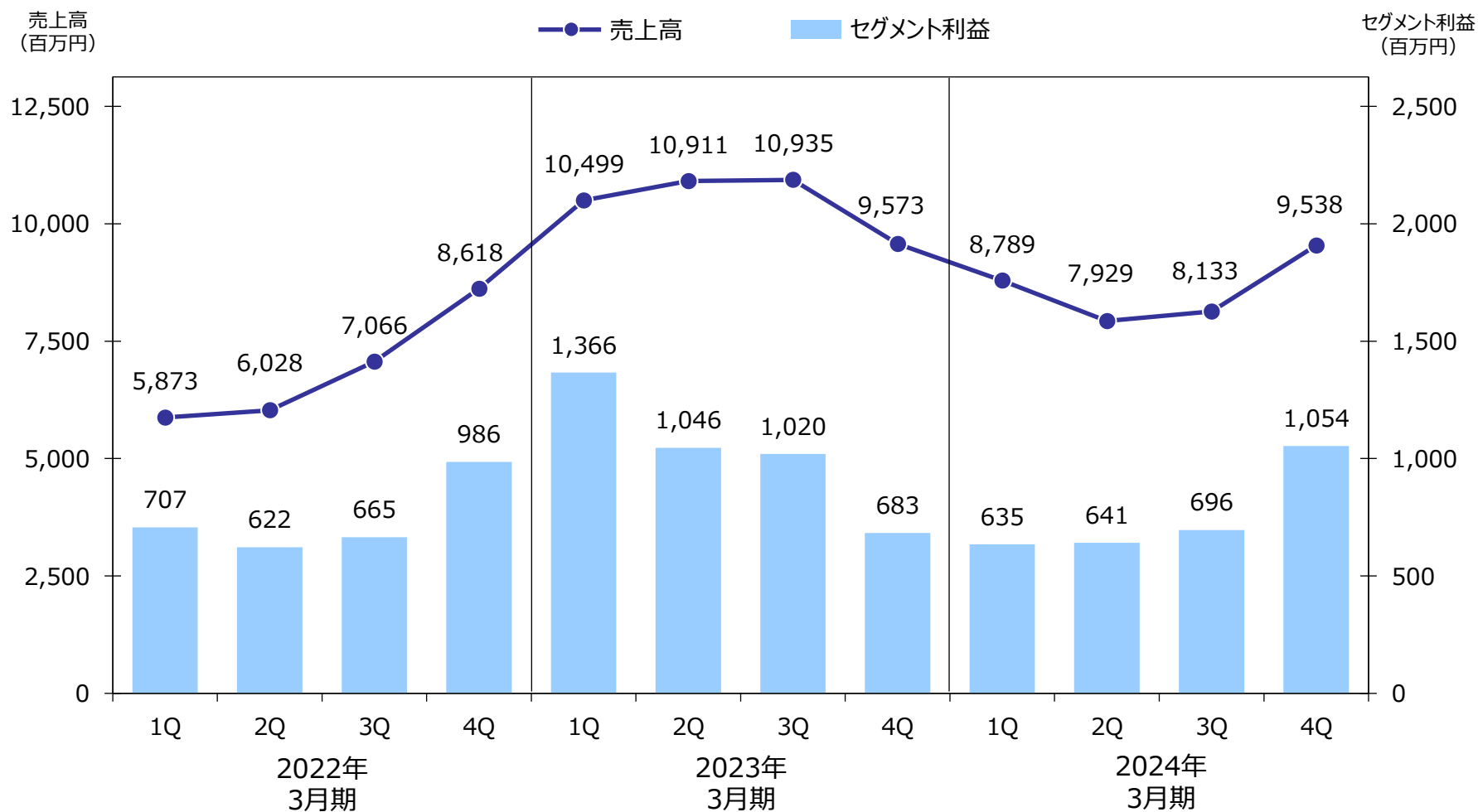


【化成品事業】 製品別売上高の推移



# 化成品事業（四半期業績）

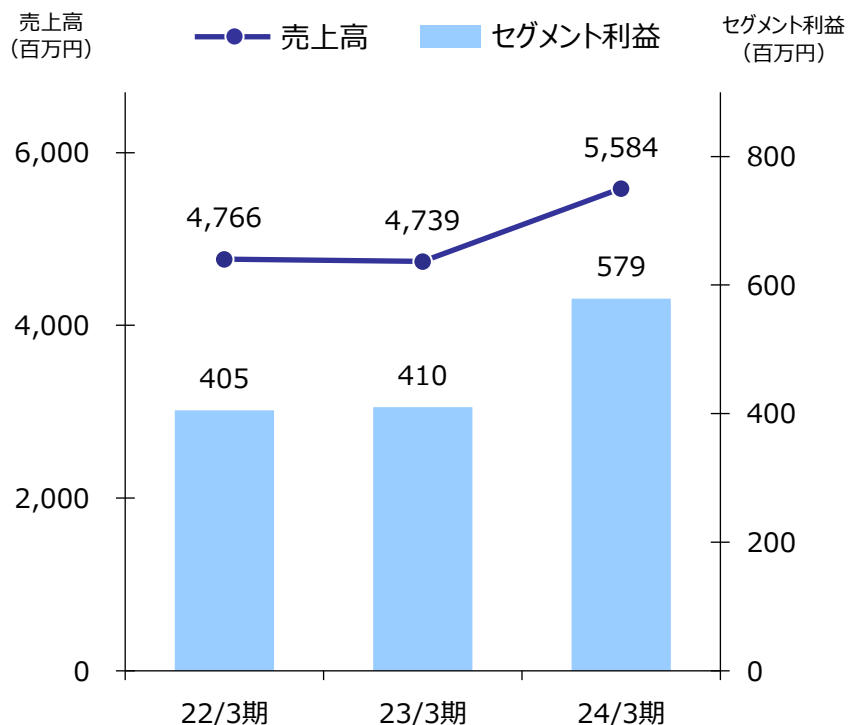
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



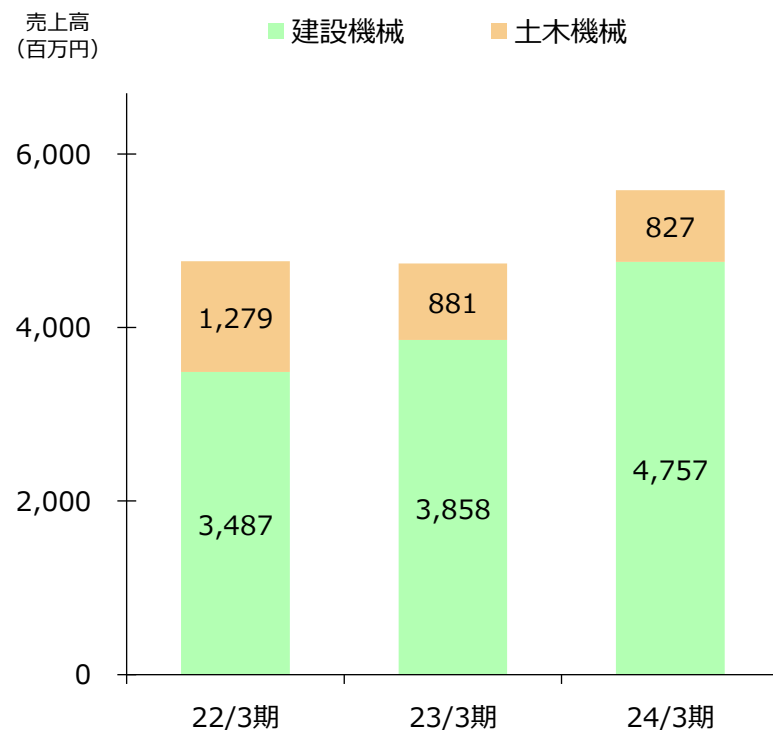
# 機械事業

- 建設機械は、本体販売が減収、プラント販売・消耗部品は増収。精密機械加工は減収。
- 土木機械は、本体販売、レンタル物件ともに減収。
- 営業利益は、建設機械の増収により、41.0%の大幅増益。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

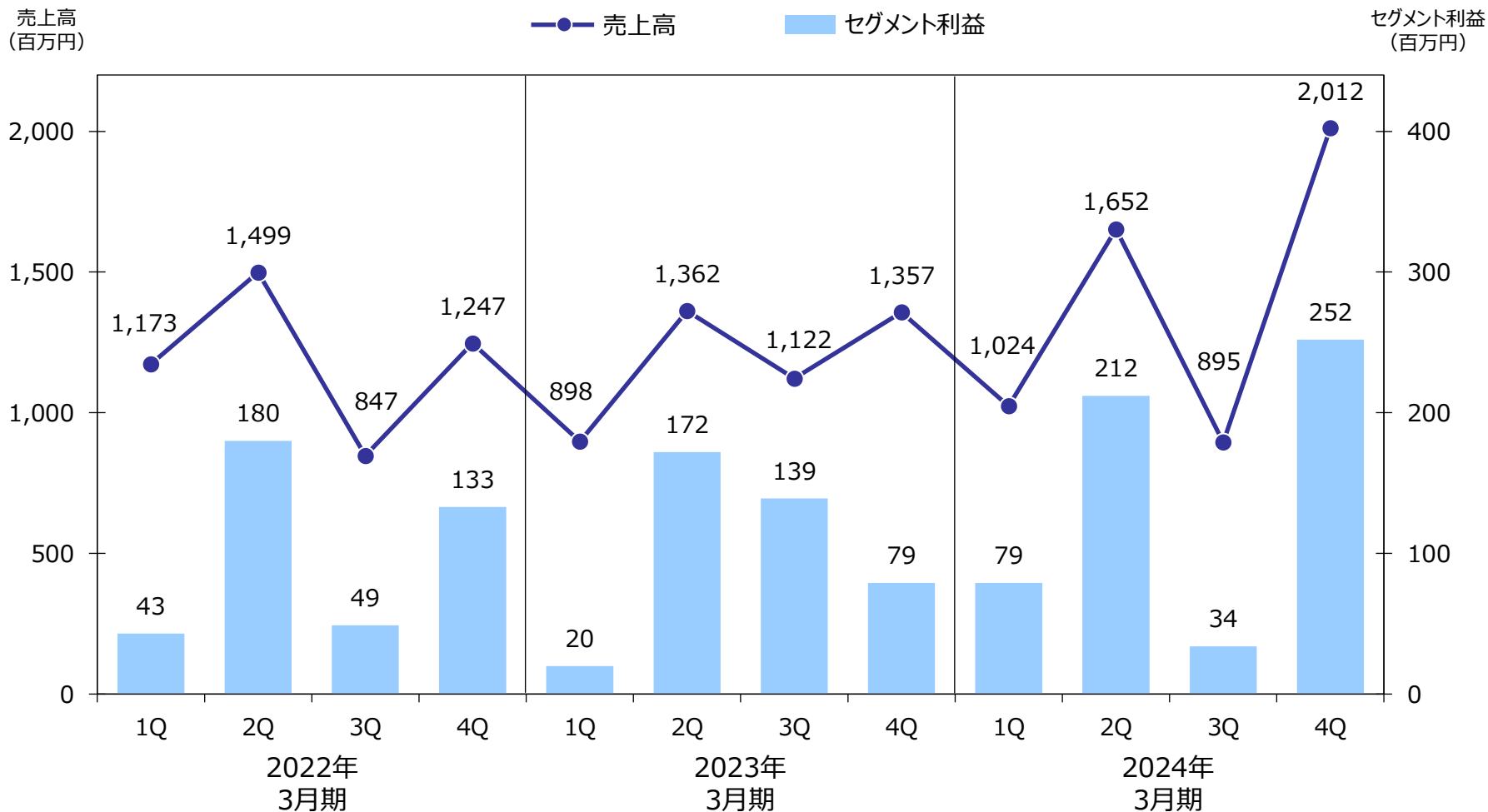


【機械事業】 製品別売上高の推移



# 機械事業（四半期業績）

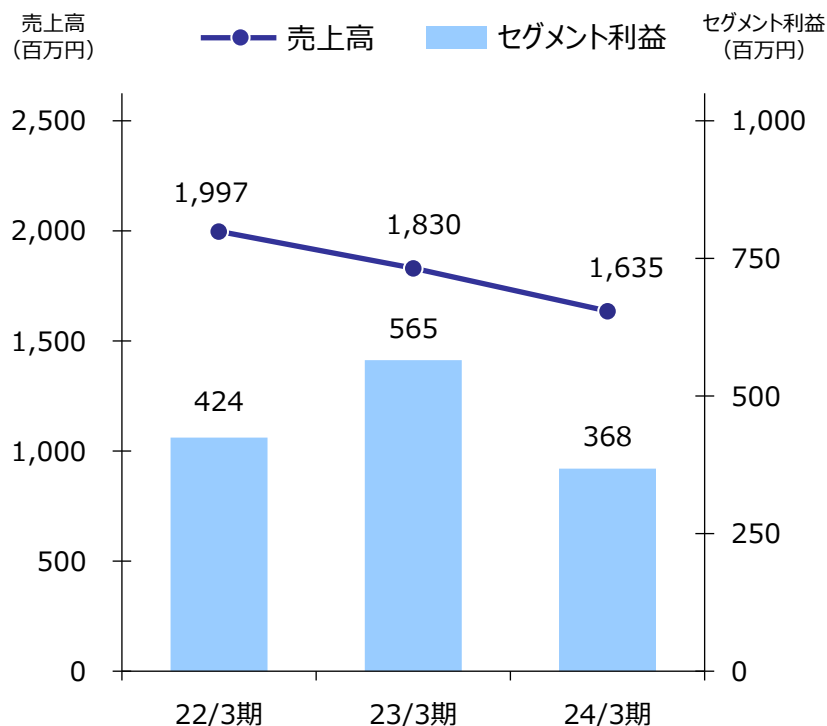
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



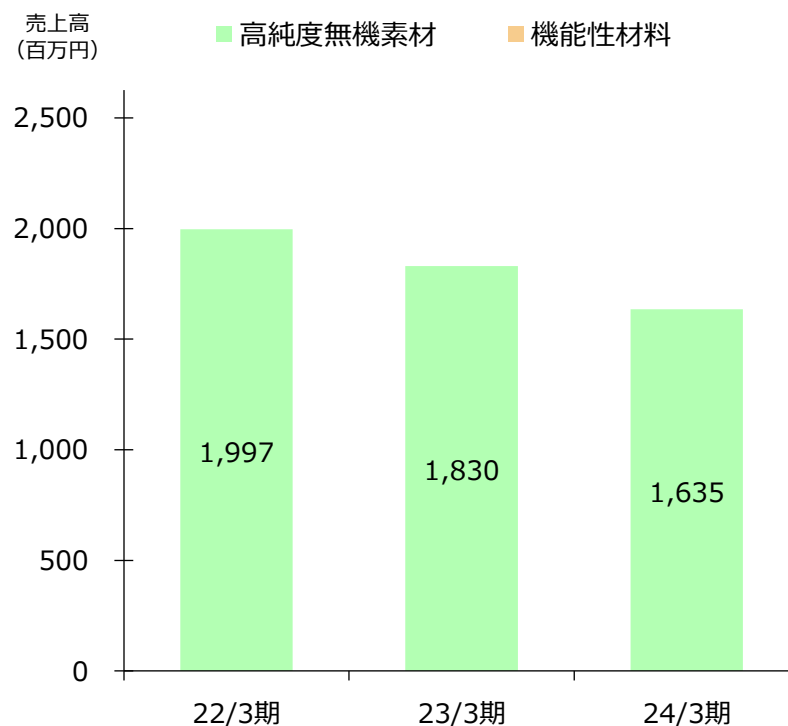
# 電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウムが若干の増収、インジウム、赤燐等が市況の悪化を受け減収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、34.9%の大幅減益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移



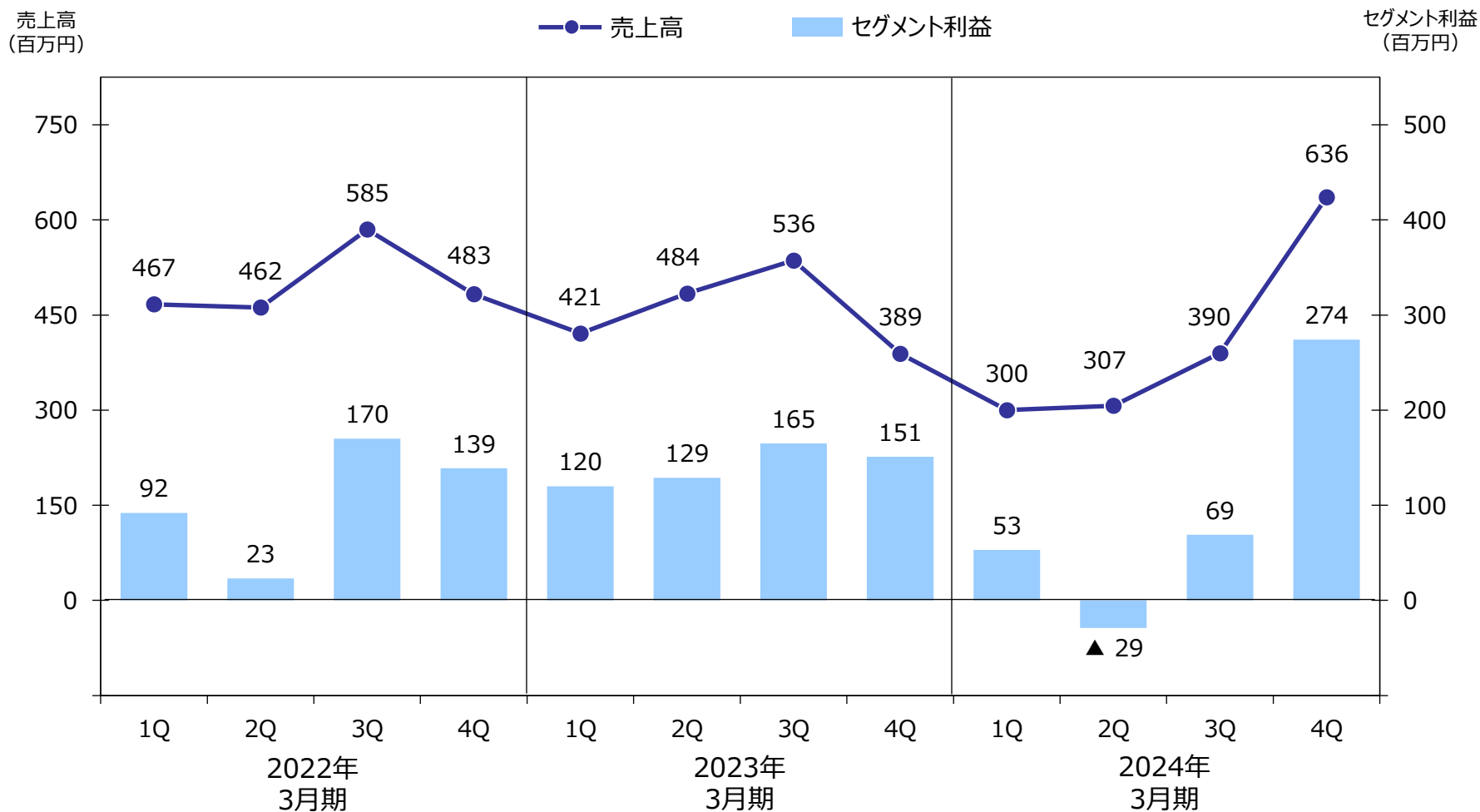
【電子材料事業】 製品別売上高の推移





# 電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



# 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3期	2024/3期	増減	前年同期比
売上高	49,600	42,788	△ 6,811	△ 13.7%
売上原価	40,186	34,531	△ 5,654	△ 14.1%
販売費・一般管理費	4,791	4,666	△ 125	△ 2.6%
営業利益	4,622	3,591	△ 1,031	△ 22.3%
営業外収益	514	224	△ 289	△ 56.2%
営業外費用	446	419	△ 27	△ 6.1%
経常利益	4,690	3,396	△ 1,293	△ 27.6%
特別利益	5	142	136	2419.7%
特別損失	66	81	15	23.7%
税金等調整前当期純利益	4,629	3,457	△ 1,172	△ 25.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,382	△ 849	△ 26.3%
(減価償却費)	1,845	1,868	22	1.2%

# 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2023/3月末	2024/3月末	増減
流動資産 計	25,564	22,497	△ 3,067
現金及び預金	4,940	3,405	△ 1,535
受取手形、売掛金、電子記録債権	11,303	12,232	928
たな卸資産 ※	8,364	6,477	△ 1,887
固定資産 計	21,987	21,826	△ 161
有形固定資産	17,893	17,325	△ 567
無形固定資産	40	48	7
投資その他の資産	4,053	4,452	398
流動負債 計	15,737	12,134	△ 3,602
支払手形及び買掛金	5,524	4,326	△ 1,197
短期借入金	7,147	5,108	△ 2,039
固定負債 計	8,563	7,222	△ 1,340
長期借入金	5,021	3,804	△ 1,216
退職給付に係る負債	3,165	3,031	△ 133
純資産	23,252	24,966	1,714
自己資本	23,125	24,966	1,841
非支配株主持分	126	—	△ 126
総資産	47,552	44,323	△ 3,228
<b>&lt;自己資本比率&gt;</b>	<b>48.6%</b>	<b>56.3%</b>	<b>7.7%</b>

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

# キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3期	2024/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,042	4,972	2,929
税金等調整前当期純利益	4,629	3,457	△ 1,172
減価償却費	1,845	1,868	22
売上債権の増減額（△は増加）	△ 887	△ 802	84
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 3,016	2,078	5,095
仕入債務の増減額（△は減少）	1,254	△ 1,224	△ 2,479
法人税等の支払額	△ 1,203	△ 1,218	△ 15
投資キャッシュ・フロー	△ 961	△ 1,891	△ 930
有形固定資産の取得による支出	△ 919	△ 983	△ 63
財務キャッシュ・フロー	245	△ 4,735	△ 4,981
借入金の純増減額	896	△ 3,470	△ 4,366
現金及び現金同等物 期中増減額	1,402	△ 1,535	△ 2,937
現金及び現金同等物 期末残高	4,940	3,405	△ 1,535

# 2025年3月期の業績予想

- 化成品事業は、電子部品関連市場の調整局面からの回復傾向が継続する想定から、増収増益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連の掘進機は海外向け販売が回復するものの、破碎関連機械は工期の長いプラント販売が前期に集中した反動から、減収減益を見込む。
- 電子材料事業は、高純度赤燐や酸化ホウ素等は販売数量が回復するものの、ガリウムは販売数量の減少から、売上は前年並み、利益は減益を見込む。

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期予想	増減	前年同期比
売上高	42,788	44,500	1,712	4.0%
化成品事業	34,391	37,200	2,809	8.2%
機械事業	5,584	4,500	△ 1,084	△ 19.4%
電子材料事業	1,635	1,650	15	0.9%
その他の事業	1,177	1,150	△ 27	△ 2.3%
営業利益	3,591	3,700	109	3.0%
化成品事業	3,028	3,650	622	20.5%
機械事業	579	400	△ 179	△ 30.9%
電子材料事業	368	150	△ 218	△ 59.2%
その他の事業	760	750	△ 10	△ 1.3%
全社費用など	△ 1,144	△ 1,250	△ 106	9.3%
経常利益	3,396	3,600	204	6.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,382	2,500	118	5.0%
1株配当金	91.00円	96.00円	5.00円	5.5%

想定為替レート

147円/USD

# 株主還元方針

- 株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善および将来の設備投資や事業展開の原資としての内部留保との調和を総合的に検討し決定する。
- 安定配当を堅持しつつ配当性向の更なる向上を目指す。

これに加えて、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応として、

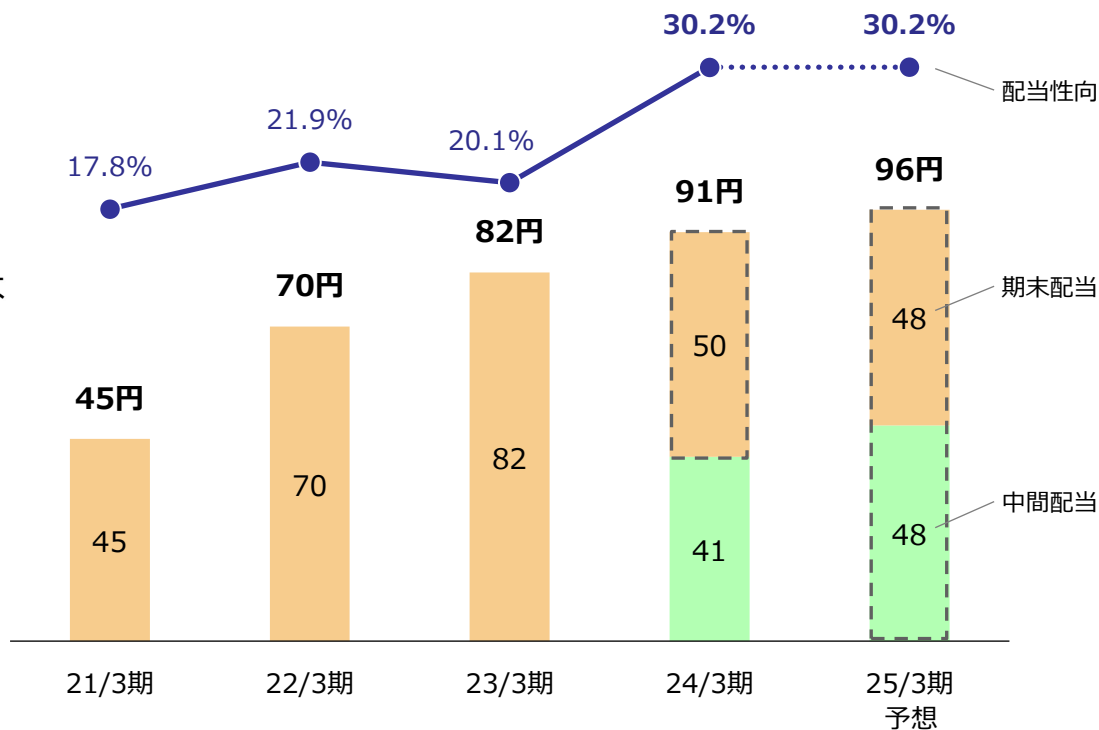
**「配当性向30%以上、ROE10%以上」**を新たな目標に設定。

## 2024年3月期

- 期末配当は、直近予想の1株当たり41円から9円増配の50円を予定
- 中間配当41円と合わせ、年間配当は91円を予定

## 2025年3月期

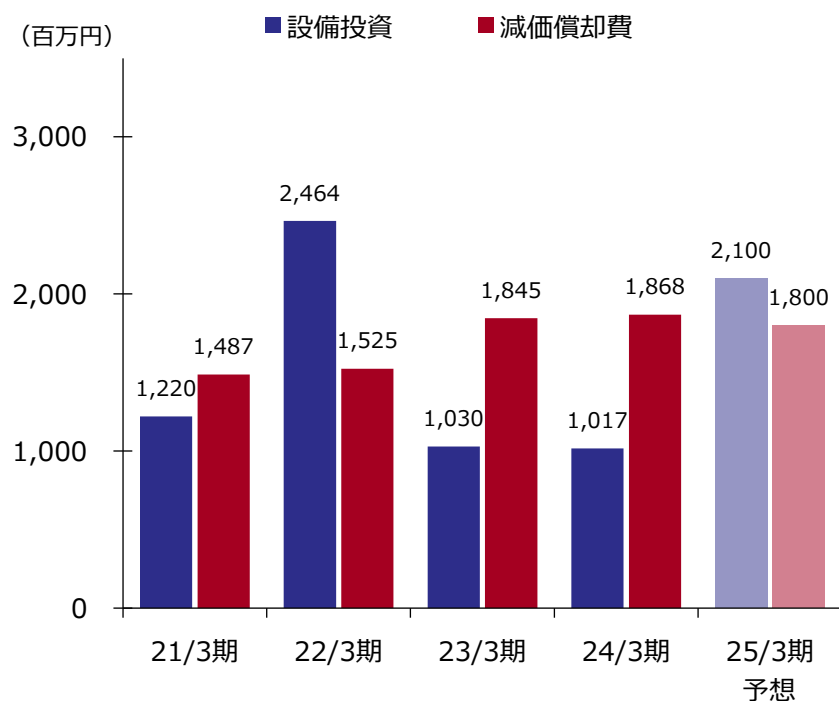
- 年間配当96円（中間配当48円、期末配当48円）を予定。



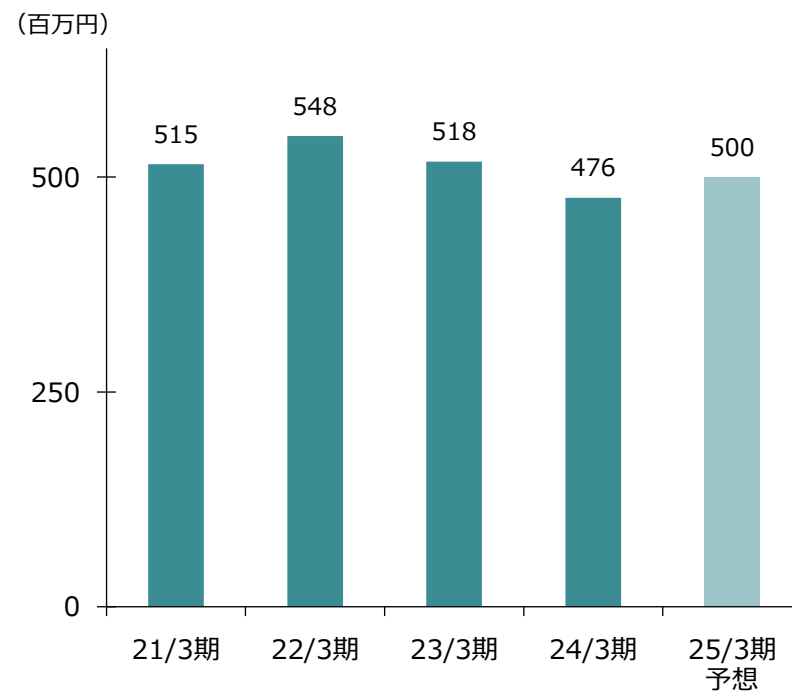
# 設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、2025年3月期は主に維持更新投資が中心であり、減価償却費をやや上回る設備投資を計画。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



### **3. 新中期経営計画**

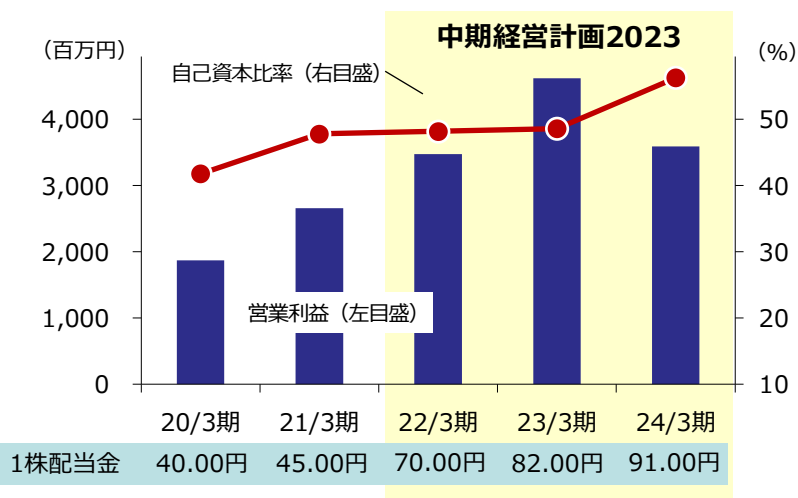


# 前中期経営計画の総括

## 定量面

	<目標>	<実績>
1. 連結営業利益	33億円	35.9億円
2. 連結自己資本比率	55%	56.3%
3. 業績に応じた配当の継続		

連結営業利益は、1年目・2年目ともに目標を超え、最終年度は半導体・電子部品関連市況悪化による販売数量減から、前年より減収減益となるも目標を達成。  
自己資本比率は、原材料高騰による運転資金増加などの影響もあったが、着実に利益を積み重ね最終年度で目標達成。



## 定性面

### 成果

- 既存事業の強化・領域拡大
  - <化成品> 半導体向け高純度リン酸の供給体制の安定化
  - <機械> リサイクル向けプラント設備の複数獲得
  - <電材> 高純度無機素材の工程改善による収益改善
- グローバル市場への機敏な対応
  - <化成品> 台湾子会社における生産能力増強投資の実施
- 新規事業の探索、育成
  - <化成品> 高純度リン酸のリサイクル技術確立計画  
(経済産業省 - 供給確保計画に認定)

### 残課題

- コンデンサー向け原料増産設備の需要に応じた生産体制の整備と省力化
- 下水道向け掘進機の新規市場開拓 (東南アジア)
- バイオマス熱利用装置 (KOCONA) の営業展開
- 放射性ヨウ素吸着剤 (AgX) の海外向け販売実現

# 長期ビジョン「Rasa Vision 2033」と理念体系

## 企業理念

私たちは、信頼と誠実を大切にし、ものづくりを通じて、新たな価値の創造と豊かな社会の実現に貢献します。

## ラサ工業の存在意義（パーパス）

産業を「モト」から支え、共に未来を築く

## 長期ビジョン

# Rasa Vision 2033

創業120周年とその先に向けて

# Rasa Vision 2033 基本方針

## 企業価値の向上と持続的成長の追求

### 1 事業ポートフォリオの最適化

- コア事業の収益力強化と成長事業の拡大
- 資本効率性を意識したROIC経営
- 新たな市場機会や成長分野への取組み強化

### 2 新規事業の創出

- 顧客ニーズに基づく付加価値の高い新製品開発
- 新たな軸となる事業の育成
- 研究開発の強化

### 3 人材戦略への注力

- 社内人材育成の強化
- ダイバーシティ&インクルージョン促進と採用力強化

## サステナブルな未来の実現

### 4 気候変動への対応と循環型社会の構築

- 温室効果ガスの排出削減
- 再生可能エネルギーへの移行
- 環境にやさしい製品の拡充

### 5 安全かつ安定操業の継続

- 事故ゼロの企業へ
- 安定した品質と供給体制の継続
- BCM（事業継続マネジメント）の強化

### 6 ガバナンスの強化

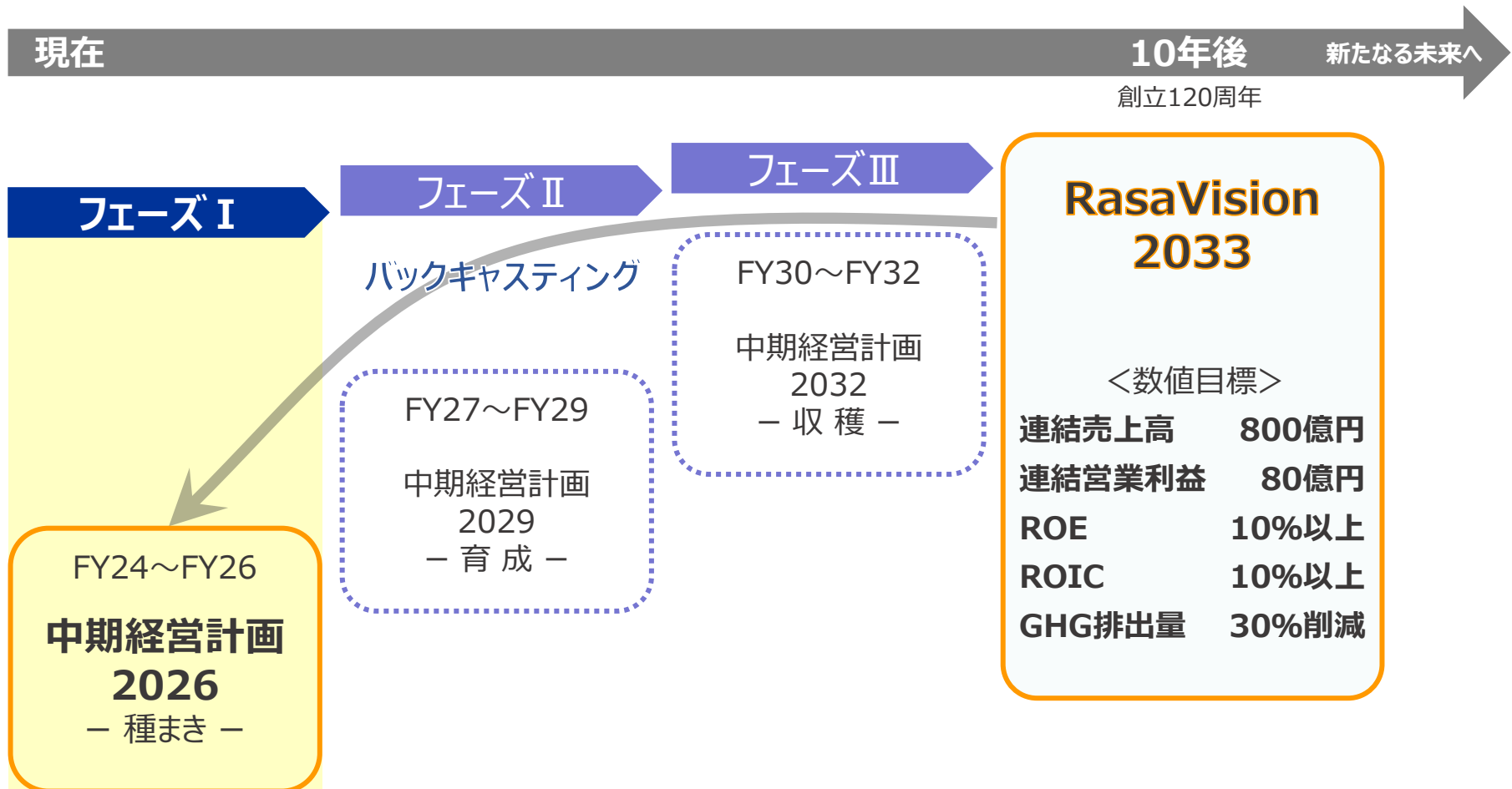
- コンプライアンスの徹底の継続
- リスクマネジメントの強化

# Rasa Vision 2033 ESG目標

	【マテリアリティ】	【取り組み】	【指標と目標】	【関連するSDGs】
Environment 環境	気候変動への対応	温室効果ガスの削減 森林の保全	CO2排出量(Scope1,2)削減:2033年までに30% 生物多様性の保全:休廃止鉱山の適切な管理	
	循環型社会の構築	資源の有効活用 環境にやさしい製品の拡充	産業廃棄物の適正な処理の実施 関連製品の拡充	
Social 社会	人権の尊重	ダイバーシティ 働きやすい職場（ワークライフバランス） 労働安全衛生	採用数に占める女性社員の率:25%以上 有休取得率:70%以上 労働災害発生件数（休業1日以上）:0件	
	人的資本への投資	人材育成 社内環境整備	階層別教育研修の充実 労使協議会の実施:年2回以上	
Governance ガバナンス	コンプライアンスの徹底	公正な取引（お取引様との共存共栄を目指す） コンプライアンス	社内研修の実施（年1回以上）	
	リスクマネジメントの推進	BCP 情報セキュリティ	事業継続計画（BCP）の再構築 情報セキュリティの強化:重大インシデント発生 0件	

# Rasa Vision 2033 数値目標と中期経営計画2026の位置づけ

「RasaVision2033」を実現するための“種まき”の期間



# 中期経営計画2026の概要

## 計画名称・期間

**中期経営計画2026** 2024～2026年度（3年間）

## 基本方針

経営資源の最適化と収益力強化を推進し、  
企業価値向上への基盤強化を図る

## 数値目標

■ 連結売上高	<b>520億円</b>	■ ROE（自己資本利益率）	<b>10%</b>
■ 連結営業利益	<b>48億円</b>	■ ROIC（投下資本利益率）	<b>9%</b>
		■ 配当性向	<b>30%以上</b>

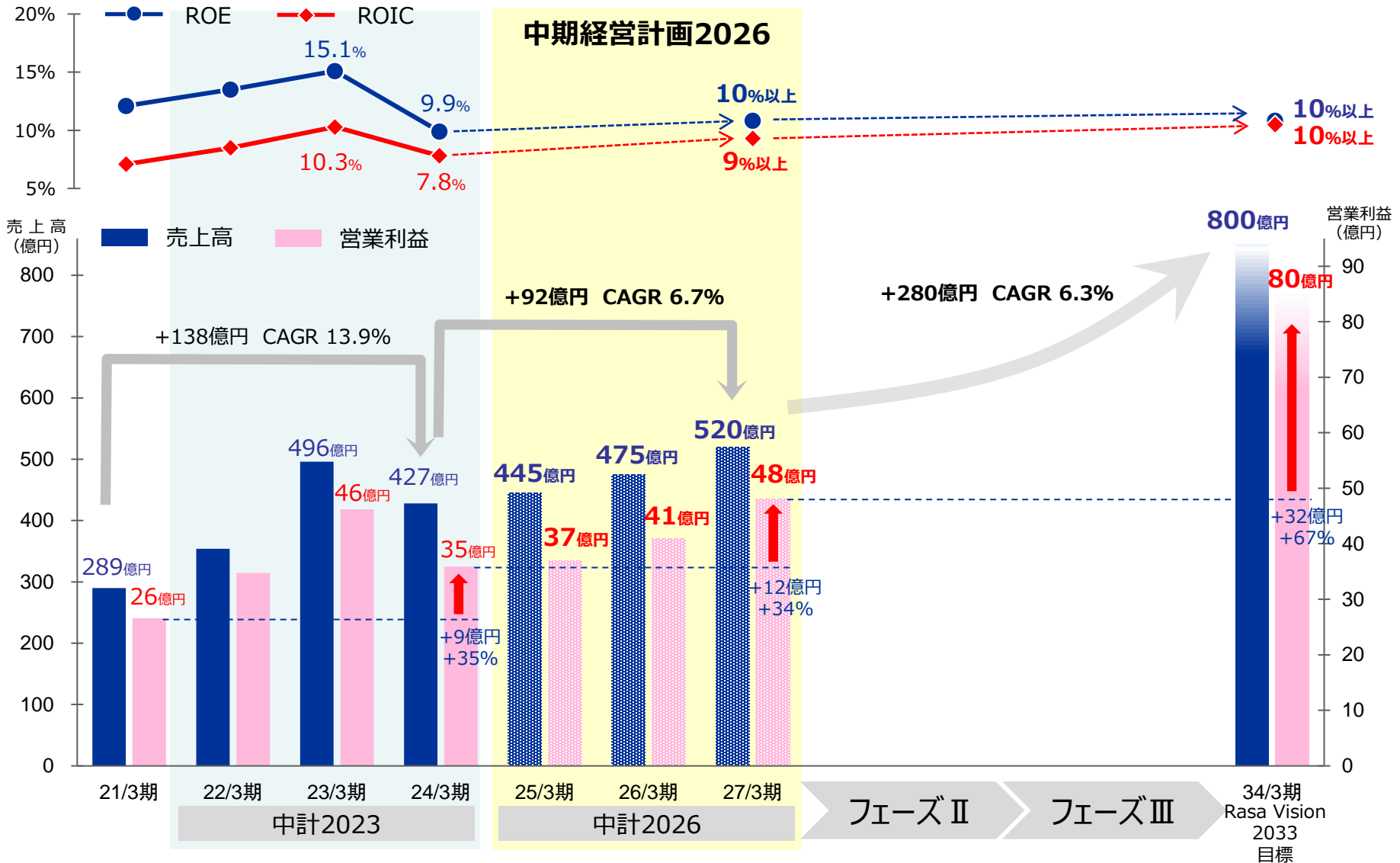
## 全社方針

- 1 経営資源最適化のための体制構築
- 2 新規事業の創出
- 3 人材戦略への注力
- 4 気候変動への対応と循環型社会の構築
- 5 安全かつ安定操業の継続
- 6 経営管理の強化
- 7 株主還元の向上

# 中期経営計画2026の施策

- ① 経営資源最適化のための体制構築
  - ✓ コア事業の収益力強化と成長事業の拡大
  - ✓ ROIC管理の導入
  - ✓ 新たな市場機会や成長分野への取り組み強化
  - ✓ DXの推進
- ② 新規事業の創出
  - ✓ 研究開発の強化
  - ✓ 研究開発環境の整備
  - ✓ エンジニアリングチェーンの強化
- ③ 人材戦略への注力
  - ✓ 人材育成環境の整備
  - ✓ ナレッジマネジメントの推進
  - ✓ 育成プログラムの見直しと強化
- ④ 気候変動への対応と循環型社会の構築
  - ✓ 温室効果ガスの排出削減
  - ✓ 再生可能エネルギーへの移行
  - ✓ 環境にやさしい製品の拡充
- ⑤ 安全かつ安定操業の継続
  - ✓ 安全衛生管理の強化
  - ✓ リスクアセスメントに基づいたBCPの見直し
- ⑥ 経営管理の強化
  - ✓ コンプライアンスの徹底の継続
  - ✓ リスクマネジメント体制の見直し
- ⑦ 株主還元の向上
  - ✓ 業績に応じた株主還元の実施

# 中期経営計画2026の数値目標 1 / 2





# 中期経営計画2026の数値目標 2 / 2

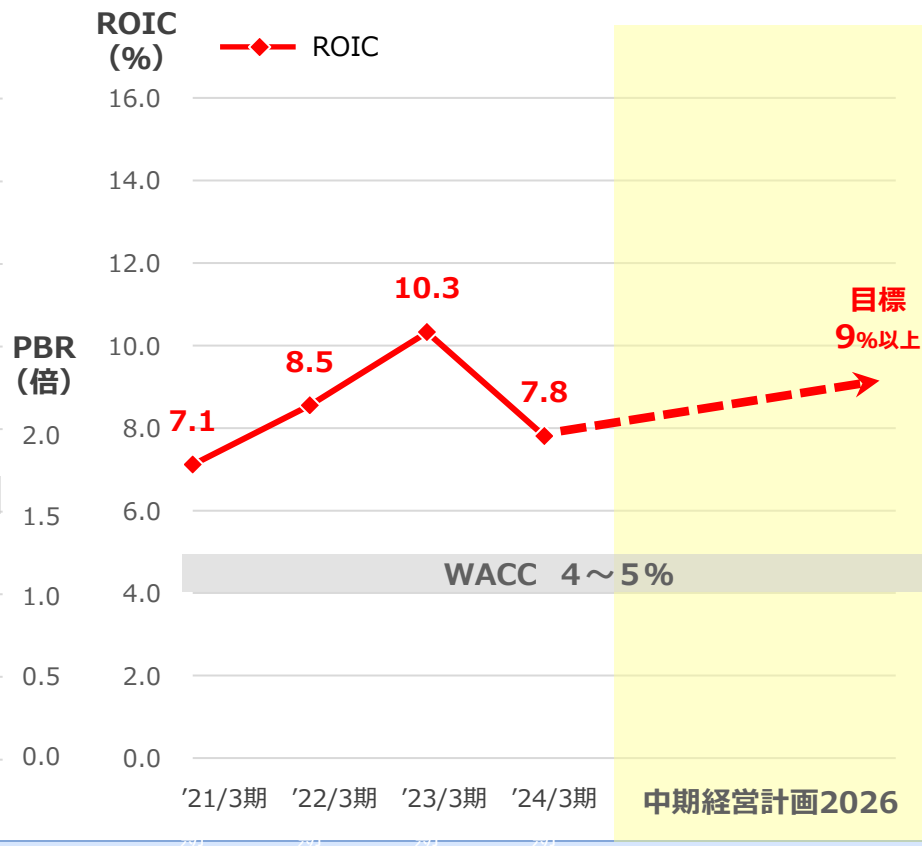
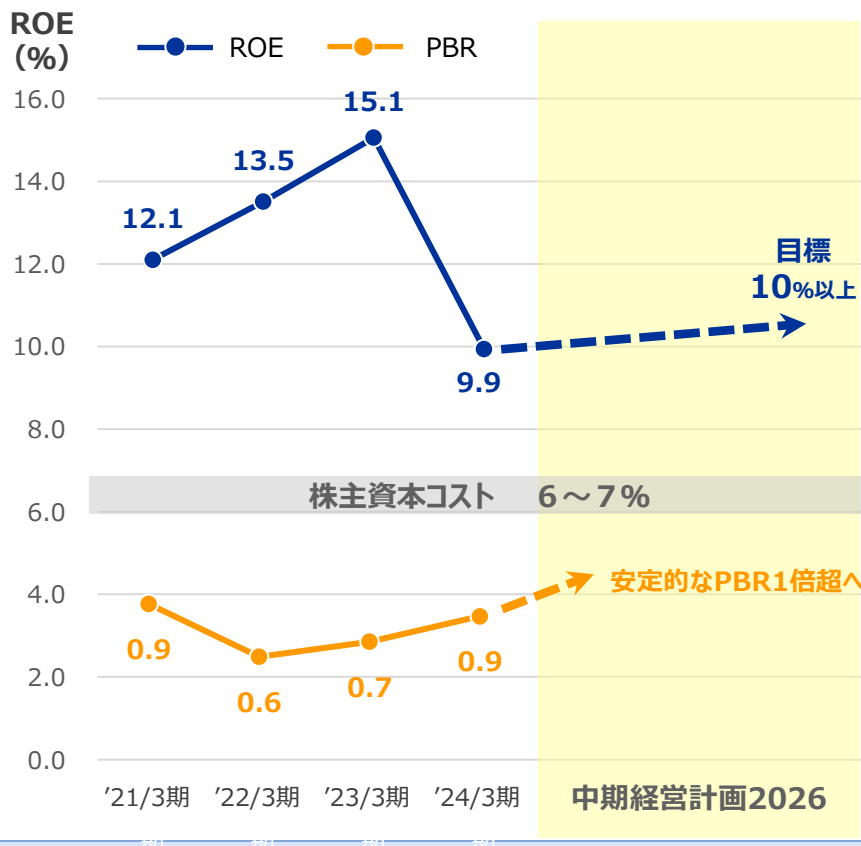
(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期 予想	2026/3期 計画	2027/3期 計画	3か年増減	増減率
売上高	42,788	44,500	47,500	52,000	9,212	22%
化成品事業	34,391	37,200	39,200	42,400	8,009	23%
機械事業	5,584	4,500	5,400	6,000	416	7%
電子材料事業	1,635	1,650	1,800	2,400	765	47%
その他の事業	1,177	1,150	1,100	1,200	23	2%
営業利益	3,591	3,700	4,100	4,800	1,209	34%
化成品事業	3,028	3,650	4,000	4,350	1,322	44%
機械事業	579	400	600	650	71	12%
電子材料事業	368	150	200	400	32	9%
その他の事業	760	750	700	800	40	5%
全社費用など	△ 1,144	△ 1,250	△ 1,400	△ 1,400	△ 256	22%
経常利益	3,396	3,600	4,000	4,800	1,404	41%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,382	2,500	2,800	3,200	818	34%
ROE	9.9%	9.7%	10.1%	10.8%	0.9%	—
ROIC	7.8%	7.9%	8.4%	9.3%	1.5%	—
純資産	24,967	26,000	28,000	30,000	5,033	20%

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 1/2

## 現状認識

- 株主資本コストの水準は、CAPMにより算出し6～7%程度、WACC（加重平均資本コスト）はCAPMによる株主資本コストと負債コストから、4～5%程度と認識。
- ROEは、株主資本コストを上回る水準を維持しているものの、PBRは1倍割れの状況が続いている。
- PBR1倍割れが続いた要因として、当社の長期的な成長戦略や経営資源の配分方針などの開示がなく、株主還元においても明確な水準を示していなかったことが要因と評価。



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 2 / 2

## 取組方針

- 長期ビジョン「Rasa Vision 2033」を策定し、それ実現するための“種まき”の期間（フェーズⅠ）と位置づける中期経営計画2026の取組みを進め、資本コストや株価を意識した経営を本格化させる。
- 収益力と資本効率性の向上、非財務施策への取組みにより、企業価値の向上を目指す。

## 具体策

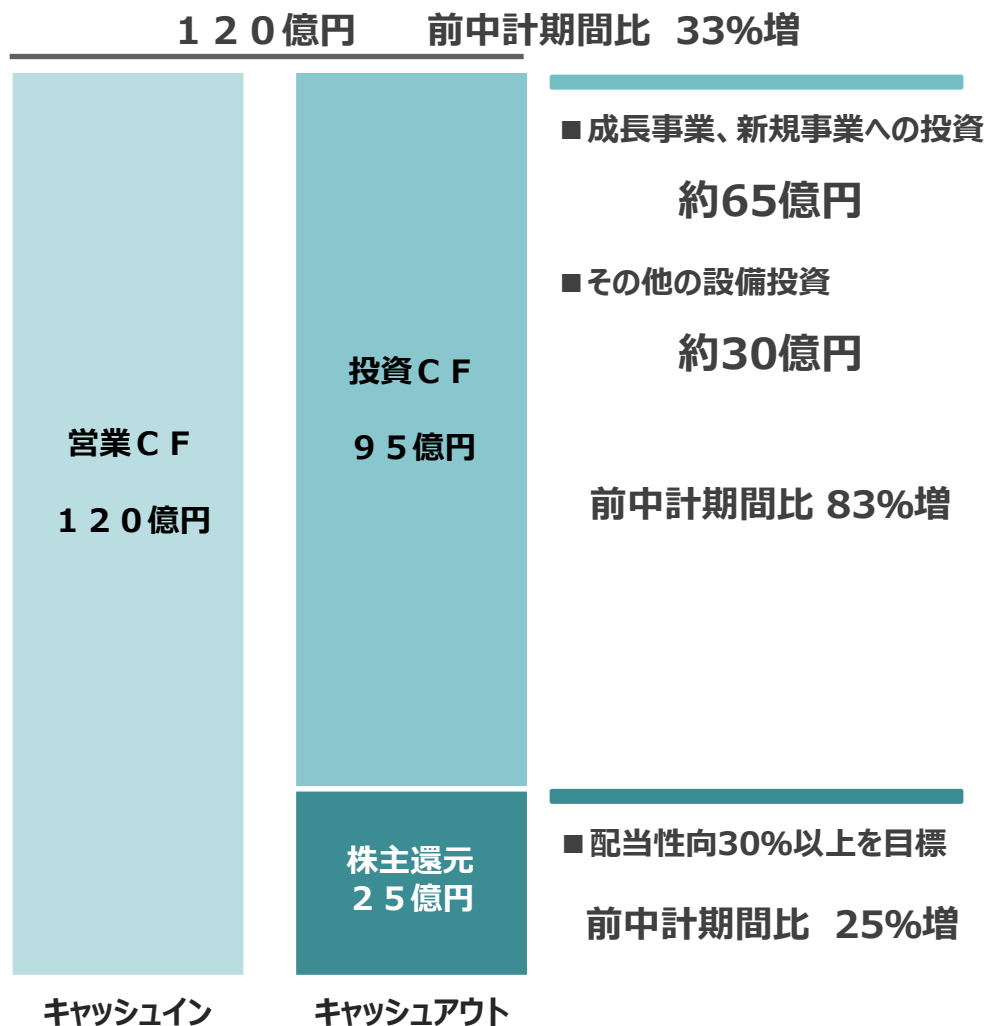
PBR	ROE	資本効率性	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ キャッシュアロケーションに基づいた適切な経営資源の配分</li><li>✓ 業績と財務状況、事業展開の原資とのバランスを勘案した株主還元の実施</li><li>✓ 配当性向30%以上</li></ul>
		資本収益性	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ ROE10%を目標とした株主資本コストを上回る水準の維持</li><li>✓ ROIC9%を目標としたROIC管理の強化</li><li>✓ コア事業の収益力強化と成長事業の拡大</li></ul>
	PER	非財務 成長性 施策	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 長期ビジョンを目指した中期経営計画の着実な実行</li><li>✓ 新規事業、成長事業への投資強化による成長戦略の実施</li><li>✓ マテリアリティ（重要課題）への取組み</li></ul>

# 中期経営計画2026 キャッシュアロケーション

中期経営計画2023 実績 (FY2021~FY2023)



中期経営計画2026 計画 (FY2024~FY2026)



# 重点施策①



<リン酸>

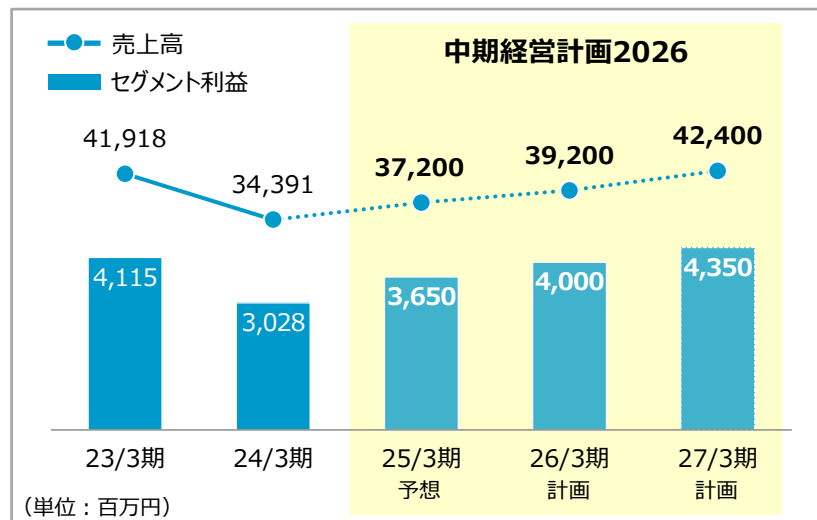


<消臭剤>



<台湾子会社>

## 化成品事業



### ■ コア事業の収益力強化

- ✓ 半導体向け高純度リン酸 – 国内外における安定操業と拡販
- ✓ コンデンサー向け原料増産設備の安定操業の整備と省力化

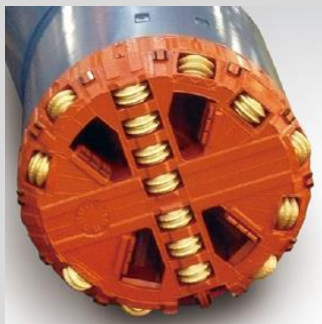
### ■ 成長事業の拡大

- ✓ 日本・東アジア・北米の新規販売先の獲得（半導体向け高純度リン酸）
- ✓ 韓国合弁会社が北米に半導体向け高純度リン酸の新工場を建設

### ■ 新規事業の創出

- ✓ 高純度リン酸のリサイクル実用化

# 重点施策②



<掘進機>

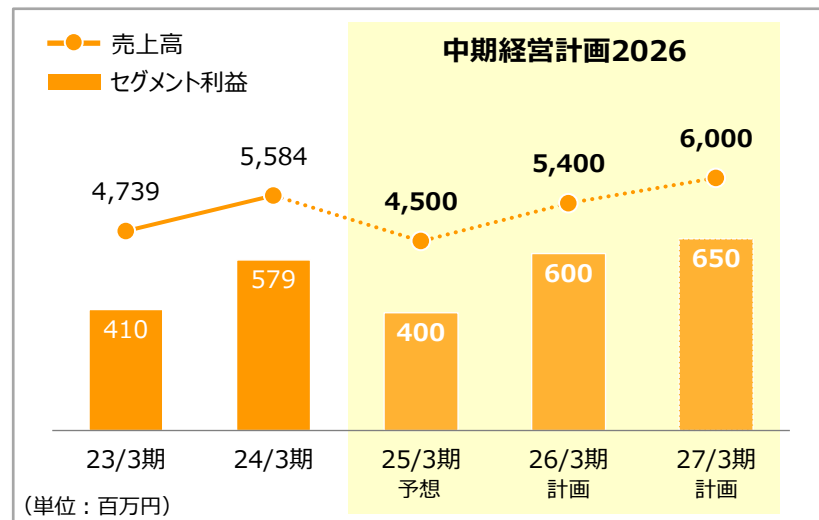


<選別機>



<粉碎機>

## 機械事業



### ■ コア事業の収益力強化

- ✓ 建設機械の単体・部品の入替需要に対し、密な営業活動

### ■ 成長事業の拡大

- ✓ 下水道向け掘進機の新規市場開拓（東南アジア）

### ■ 新規事業の創出

- ✓ 新事業の探索

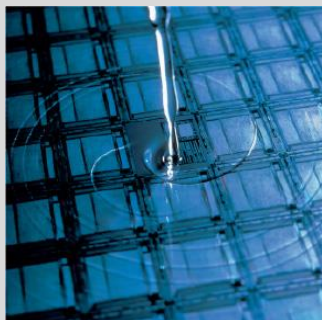
# 重点施策③



＜高純度無機素材＞

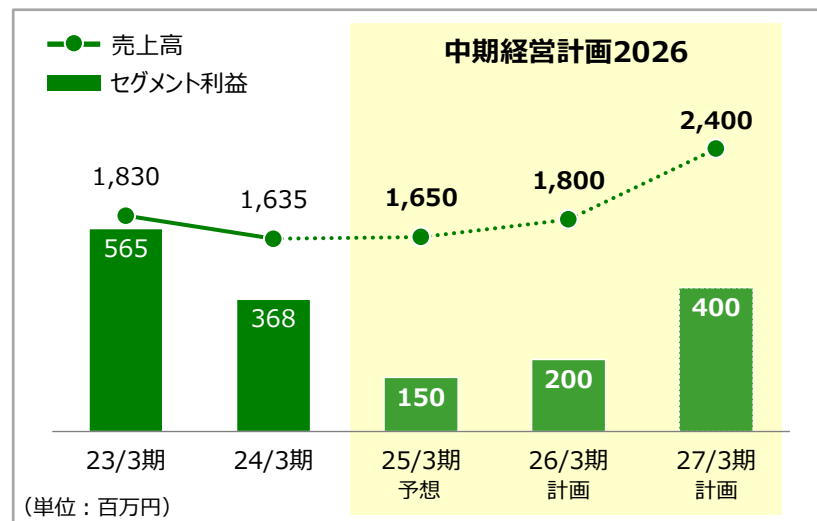


＜放射性ヨウ素吸着剤＞



＜塗布剤＞

## 電子材料事業



### ■ コア事業の収益力強化

- ✓ 高純度無機素材の品質・コストの競争力を向上し、シェア拡大
- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の継続的な販売の実現

### ■ 成長事業の拡大

- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外市場開拓

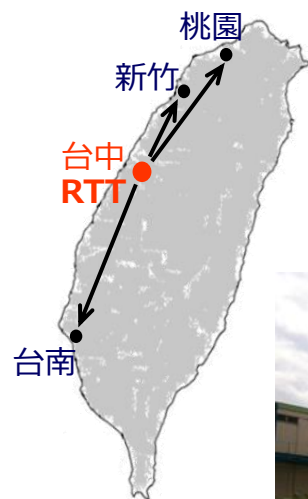
### ■ 新規事業の創出

- ✓ 次世代半導体用材料の開発

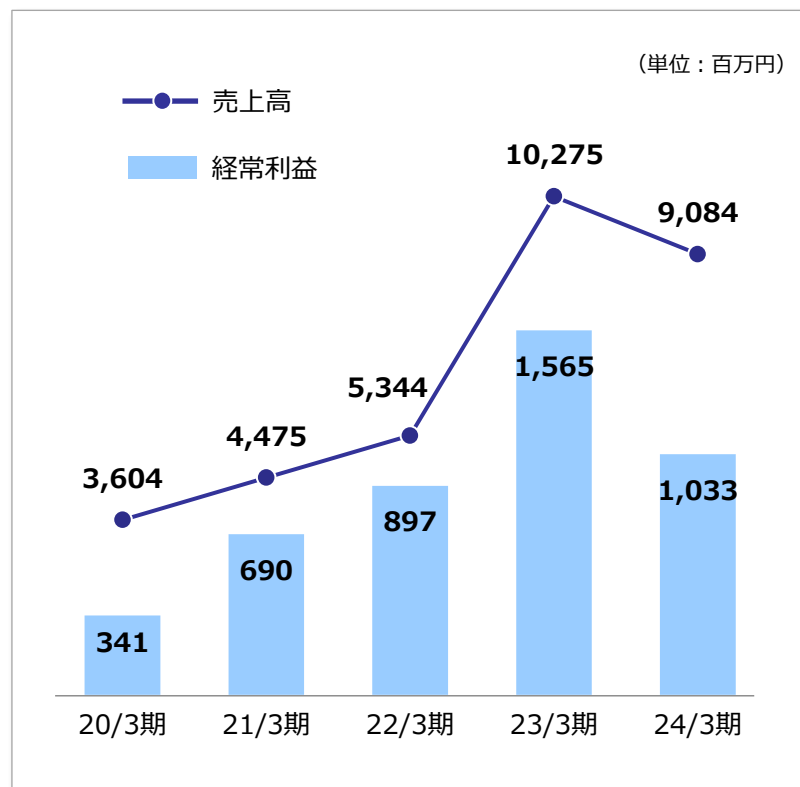
# <参考> 台湾連結子会社

会社名 **理盛精密科技股份有限公司**  
(Rasa Technology Taiwan Ltd.)

- ▶ 設立 2003年12月17日
- ▶ 所在地 台中市梧棲區緯二路1號

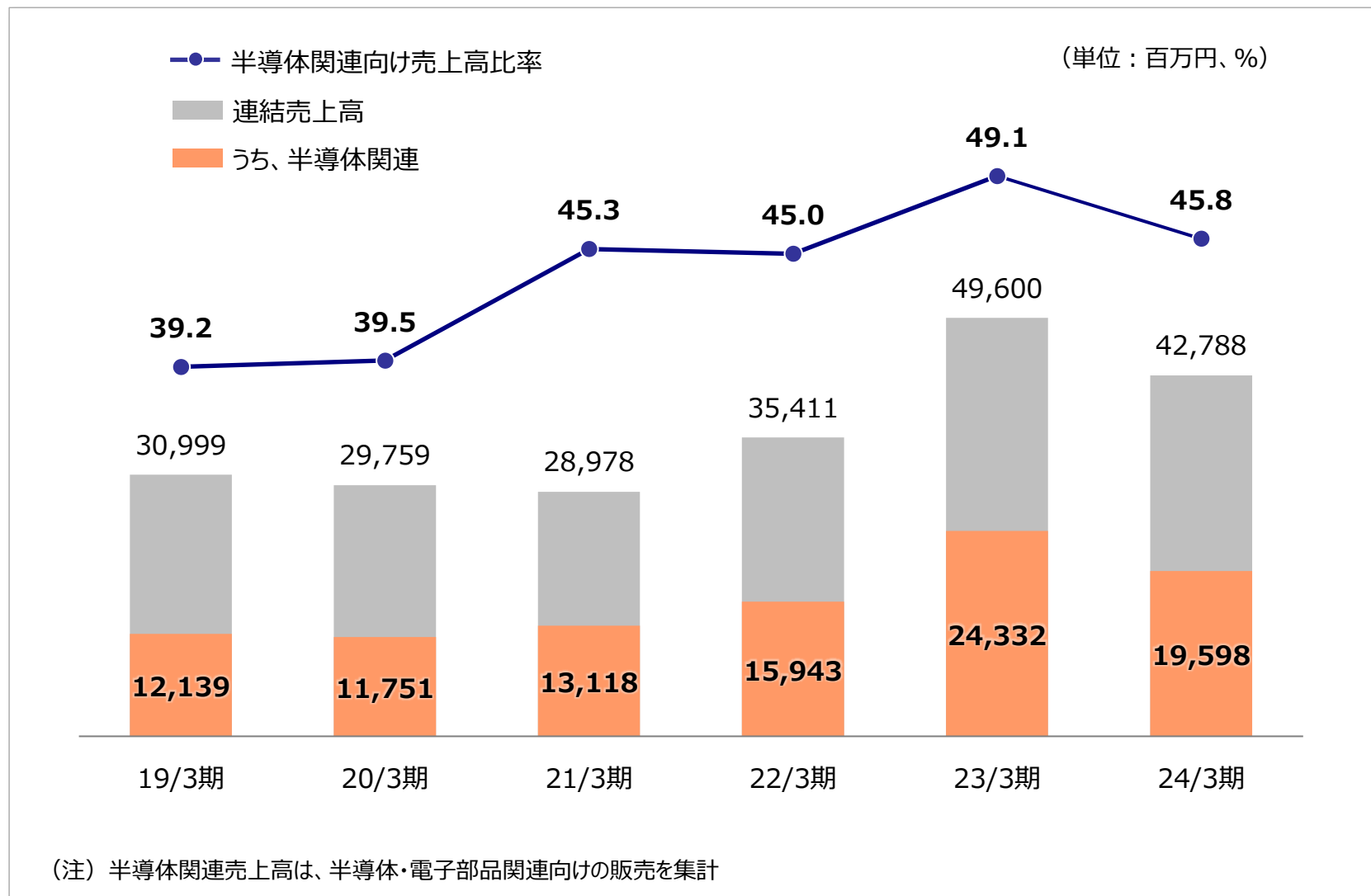


## ▶ 売上高と経常利益の推移





# <参考> 半導体関連 (注) 向け売上高



# 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－  
ラサ工業株式会社 経理部  
03-3258-1835